



気象庁は『気象・地震・津波等の安全知識の普及啓発』に取り組んでいます。

防災授業（急な大雨・雷・竜巻）



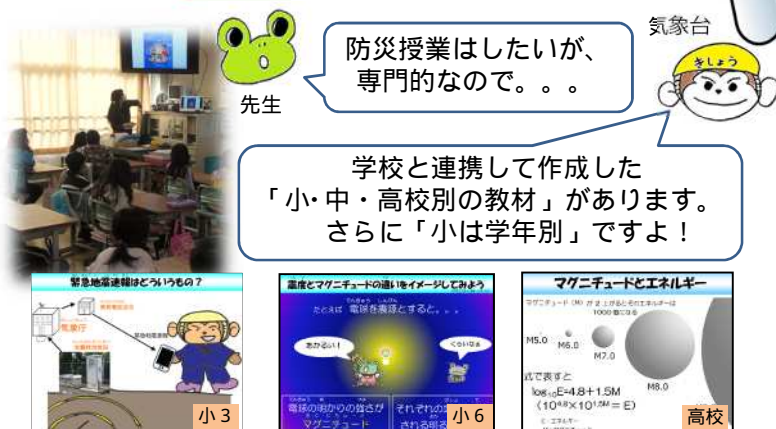
積乱雲に伴う急な大雨・雷・竜巻への対応を学ぶ教材

防災授業（台風）



台風に伴う自然現象、日頃の備えや避難行動等の対応を学ぶ教材

防災授業（地震・津波）



地震・津波を正しく理解し、避難訓練の重要性を学ぶ教材

体験型学習（大雨）



安全行動をグループでシミュレートする能動的な学習プログラム





防災授業（急な大雨・雷・竜巻）

・急な大雨・雷・竜巻から身を守るための授業

積乱雲がもたらす急な大雨・雷・竜巻などの激しい自然現象に対し、児童・生徒自らが判断して、的確に身を守る行動をとるための知識や意識について学習できる先生用の教材を用意しています。教材には資料映像やワークシートもあります。

防災授業（台風）

・台風に伴う災害から身を守るための授業

台風の動きと天気変化、台風がもたらす暴風、高波、高潮などの激しい自然現象を理解するとともに、テレビや新聞、インターネットなどで伝えられる気象情報の読み解き方、さらには身を守るための日頃からの備えと台風襲来時の適切な対応を学びます。

防災授業を
始めよう！

各教材は全て
セリフつき！

防災授業（地震・津波）

・地震・津波の防災授業 ～小・中・高教材～

さらに、小は子どもの発達に合わせて学年別6種類。「教材」は多くの学校で活用されています。写真・動画・クイズで構成されたパワーポイントで、何を子どもたちに話すかと言う「セリフ」を各スライドに記載しているので、そのまま授業が出来ます！



実施校の先生

毎年実施している地震の避難訓練に変化をつけ、子ども・教師・保護者の意識を向上したいと思います。準備に忙しい中で「セリフ」が助かりました！

体験型学習（大雨）

気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 その時どうする？」概要



児童・生徒自らが、防災気象情報をどのように活用し、どのように安全行動をとればよいのかを考えるプログラムです。全国での使用実績多数。